

四				
採 点 項 目				
※	内容	構成	文字数	表記
<p>○ 原稿用紙の正しい使い方</p> <p>(1) 各段落の書き出しは、一字分下げる。</p> <p>(2) 句読点や符号などは、原則それぞれ一字分をあてる。</p> <p>(3) 文末の句点と括弧の閉じの部分は、同じマスに書いてよい。</p> <p>(4) 句読点や括弧の閉じの部分が行末にくる場合は、行末の文字と同じマス又は欄外に書く。</p> <p>○ その他のことについては、各学校で統一して採点する。</p>	<p>第二段落構成になっている。</p> <p>第一段落には、【資料1】の事例において、誤解が生じないようにするにはどうすればよかったか、Aさん、Bさんのいずれか、または両者の改善点を挙げ、その理由を書いている。</p> <p>第二段落には、第一段落を踏まえ、言葉を用いたコミュニケーションをよりよくしていく上で自分が大切だと考えることを、【資料2】のI、IIのいずれか、または両方の内容に関連付けて書いている。</p>	<p>十行以上、十二行以内で書いている。</p>	<p>原稿用紙の正しい使い方に従って書いている。(原稿用紙の正しい使い方は、左記※による。)</p> <p>文体が統一され、文法上の間違い、誤字、脱字などがなく、仮名遣い、送り仮名などに誤りがない。</p>	<p>おおくして</p> <p>4</p> <p>問四</p> <p>II</p> <p>1</p> <p>則ち成功少なく</p>

三				
問五			問三	問一
(3)	(2)	(1)	I	
ウ	イ	ア	4	おおくして
何 ^例	数	損 ^例		
度	数	失	問四	問二
も		が		
変		大	II	1
更		き		
し		い	則ち成功少なく	
な				
い				

二					
問四			問二	問一	
C	B	A	ア		
に	自 ^例	喜	安	や ^例	C
感 ²⁰	分	ぶ	い	り	
謝	の		通	遂	3
す	た		り	げ	
る	め		の ²⁰	ら	問二
	に		構	れ	
	働		図	る	3
	き			だ	
	続			ろ	15
	け			う	
	て			か	2
	く			と	
	れ			い	2
	て			う	
	い			不	2
	る				
	父				2
	親				

一									
(2)			(1)						
問五	問三	問一	問五	問四	問三	問二	問一		
強く	2	非	A	4	イ	ア	も	X	3
		現	登 ^例		整	現	と		
問六	よ	実	物	自	合	性	界	の	知
		的							
2	い	的	と	分	点	の	参	照	さ
		的							
2	ん	的	自	分	通	点	に	く	く
		的							
2	ん	的	と	分	通	点	に	く	く
		的							

受 検 番 号

※ (合計)

得点	60
----	----

(配点) ※					
内容	構成	文字数	表記		
5	5	1	1	2	1
(小計) ※					
15					

(配点) ※				
2	2	2	2	1
(小計) ※				
12				

(配点) ※					
2	2	2	2	2	2
(小計) ※					
12					

(配点) ※			(配点) ※						
2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
(小計) ※			(小計) ※						
9			12						